

## 第1回講座【公開講座】

■日時：平成27年7月3日（金）13：30～16：30

■場所：群馬県公社総合ビル ホール

■内容

### ◆基調講演

演題：「農業を取り巻く情勢～これからの日本農業～」

講師：塾長（NHK解説主幹） 合瀬 宏毅 氏

#### 【概要】

- 「日本農業の状況」、「農業の担い手（企業参入）」、「国の農業政策」、「高付加価値化（6次産業化）」、「食による地域興し」という視点で講義を受けた。
- ・農家の高齢化は進んでおり、2010年時点で65歳以上が6割超、50歳未満は1割程度。全国では5ha以上の経営体は増えているが、5haを下回る経営体は減少傾向。また、売上1億円を越えるような経営体は増え、下回るような経営体は減少傾向。
- ・強い農業には、大規模化で低コスト化や高付加価値化（6次産業化）等が考えられる。加工度が上がるほど利益率は上昇するが、6次産業化には課題もあるので注意が必要。食による地域興しも盛んに行われており、地域性・独自性を出す事が重要。
- ・最後に、ダーウインの言葉を引用し、「強いものが生き残るのではない。環境の変化に対応できるものだけが生き残る。」と激励された。



（合瀬塾長の講演）

### ◆講義

演題：「農業には夢がありおもしろい～新しい農業のかたち～」

講師：ファームドゥ（株） 代表取締役 岩井 雅之 氏

#### 【概要】

- ファームドゥ（株）の創業からの経緯や取り組み、ソーラーファームによる新しい農業のかたちについて講義を受けた。
- ・経営理念は「農業を支援し、農家の所得向上に貢献する」。
- ・ファームドゥは、自社生産と契約農家による安定供給と自社販売により、ブランド化を推進し、店舗網を広げてきた。
- ・ソフトチーム加工や金芽米精米など、6次産業化にも取り組んできた。
- ・日本式の農業は素晴らしく、海外への普及活動も行っている。
- ・太陽光発電と農業を一体化させた「ソーラーファーム」により、土地収益力が30倍になり、収益力あるかっていい農業に



（岩井社長の講義）

- 変身する。日本の技術力を活かし、農家の所得向上のための新たなビジネスモデル。
- ・成長するための夢のサイクル「夢→目標→計画→実行→結果→分析→成長→夢」。
- ・経営とは実行である。リーダーシップとは人間関係と結果である。公益と利益は「論語と算盤」の精神である。

## 第2回講座

■日時：平成27年7月17日（金）13:00～18日（土）12:00

■場所：伊香保温泉 森秋旅館

### ■内容

#### ◆講義・演習

演題：「農業経営者としての経営理念・経営戦略」

講師：（公財）松下政経塾 塾頭 古山 和宏 氏

TA：（一社）アグリフューチャー・ジャパン 主任 岡部 由美子 氏

（一社）アグリフューチャー・ジャパン 竹村 淳 氏

（公財）流通経済研究所 研究員 石橋 敬介 氏

### 【概要】

#### 1 講義

○松下幸之助氏の考え方を基に、「経営とは何か」、「経営と指導者の条件を考える」、「事業趣意書（経営理念）」という3点から講義を受けた。

##### ①松下政経塾の概要説明

松下政経塾のDVDを視聴し、建塾の原点となった松下幸之助氏の想いや設立趣意、自修自得の考え等について説明。

##### ②経営とは何か

人によって定義は異なるが、自分なりの経営観を作ってほしい。

松下幸之助氏の考え：経営理念の確立、人間を知る、謙虚と感謝

##### ③指導者の条件

松下幸之助氏の考える条件：運がある人、愛敬がある人、感謝と謙虚

古山塾頭の考える条件：志を持つ、人間力を身につける、徳を養う

##### ④塾生同士で指導者の条件を考え、意見発表

多かった意見：目標を持って行動する、人から信頼されている、判断力、視野の広さ、伝達力 等

#### 2 演習

問題意識、最終的に実現したいこと、実現のために必要なことを考え、「私の志」、「事業趣意書」を作成した。



（古山塾頭の講義）



（講義の様子）

◆塾OBからの経営計画等の発表、塾OB等との意見交換会

参加者：塾長（NHK解説主幹） 合瀬 宏毅 氏  
（公財）松下政経塾 塾頭 古山 和宏 氏  
（一社）アグリフューチャージャパン 主任 岡部 由美子 氏  
（一社）アグリフューチャージャパン 竹村 淳 氏  
（公財）流通経済研究所 研究員 石橋 敬介 氏  
（公社）日本農業法人協会 主幹 新井 孝 氏  
計画を発表した塾OB：平成24年度担い手育成コース 関根 正敏 氏  
平成24年度6次産業化コース 戸黒 努 氏

【概要】

- 塾生に、本塾の最終回で開催する発表会（経営計画・商品企画）について説明するため、各コースの卒塾生2名から、当時作成した経営計画書・商品企画書を発表してもらい、概要を掴んでもらった。
- 意見交換会は、塾生同士の横のつながり及び塾OBとの縦のつながりを図ることを目的に、講師も交えて自由な意見交換を行った。塾長、講師、塾OB、塾生、県職員との意見交換を通して、仲間意識の芽生えや連携のきっかけ作りを行い、塾生同士の連帯感が生まれた。

◆講義・演習・グループワーク

テーマ：「ケーススタディ」

講師：（一社）アグリフューチャージャパン 主任 岡部 由美子 氏  
（一社）アグリフューチャージャパン 竹村 淳 氏  
（公財）流通経済研究所 研究員 石橋 敬介 氏

【概要】

- 「環境分析と販売戦略について」の講義を受けた後、具体的事例について、各班ごとに検討のうえ、資料の作成・発表を行った。
- ①内部環境・外部環境を考え、SWOT（強み、弱み、機会、脅威）の4要素を組み合わせることにより、戦略方針を導く。
- ②STP（顧客・市場）について考え、最終的に自社が目指すべきポジショニングマップを検討する。



（グループワークの様子）



（発表の様子）

## 第3回講座

### ①担い手育成コース

■日時：平成27年9月2日（水）10：00～16：30

■場所：群馬県庁 292会議室

■内容

◆講義

演題：「農業経営者に求められる資質について考える」

講師：(株)TKF 代表取締役 木村 誠 氏

#### 【概要】

○(株)TKFの経営ビジョン、経営理念、設立の経緯、雇用やチーム間の連携について重点的に講義を受けた。

- ・(株)TKFの経営理念（ミッション、ビジョン、バリュー）。経営理念の重要性の説明を通じて、経営者として大事にすべきことを学ぶ。
- ・どの組織にとっても人の問題が一番大きな課題であり、経営者は各部門やグループの長となる人間をしっかり育てることが重要。

◆講義・演習・グループワーク

テーマ：「環境分析（SWOT分析）演習」

講師：(一社)アグリフューチャージャパン 竹村 淳 氏  
(公財)流通経済研究所 研究員 石橋 敬介 氏

#### 【概要】

- ・「環境分析」の講義を受けた後、各自の置かれた環境（機会・脅威）について考え、各班ごとに検討のうえ、資料の作成・発表を行った。
- ・続いて、講義を受けた(株)TKFについて、「機会×強み＝戦略」を考え、各班ごとに検討のうえ、資料の作成・発表を行った。



(木村社長の講義)



(グループワークの発表の様子)

## ②6次産業化コース

■日時：平成27年9月8日（火）10：00～17：00

■場所：群馬県庁 昭和庁舎 35会議室

■内容

◆講義

演題：「販売戦略を考える～ブランディングとは～」

講師：株式会社 kenma 代表取締役  
株式会社 kenma

今井 裕平 氏  
林 雄三 氏

### 【概要】

- ①第5回講座のファーマーズ&キッズフェスタを教材とし、その参加に向けてデザイナーを活用して商品をブラッシュアップする手法を体感し、学んだ。
- ②顧客（お金を払ってくれる人）は、期待を買っている。商品に対する期待は、下の3つの要素から成り立っている。デザイナーはこれらを聞き取って、又は感じ取ってデザインを起こしていく。依頼者（経営者）は、出来るだけこれらのことを、デザイナーに伝えていくことが重要。



◆グループワーク&セルフワーク

テーマ：「ファーマーズ&キッズフェスタ出展に向けた統一コンセプト等」

講師：株式会社 kenma 代表取締役  
株式会社 kenma

今井 裕平 氏  
林 雄三 氏

(一社) アグリフューチャー ジャパン 主任 岡部 由美子 氏

### 【概要】

- 昨年度の出展の様子を伝え、出展レイアウトや統一コンセプトについて話し合いを実施。



(今井社長の講義)



(フェスタ参加に向けた企画設計)

## 第4回講座

### ①担い手育成コース

■日時：平成27年10月6日（火）

■内容

◆先進事例調査

視察先：（有）信州ファーム荻原（長野県東御市）

講師：（有）信州ファーム荻原 取締役専務（農場長） 荻原 昌真 氏

T A：（一社）アグリフューチャージャパン 竹村 淳 氏

（公財）流通経済研究所 研究員 石橋 敬介 氏

#### 【概要】

○荻原農場長に案内いただき、その都度、質疑応答を行って視察を実施。

〈荻原農場長の話の一部〉

- ・米は、自社の水田 70ha、作業受託 15ha。その他畑 30ha（大豆と小麦を栽培）。
- ・全量自社販売しており、無農薬、減農薬にこだわっている。
- ・社員9名で、中山間地の田が約 500 枚。農地は集積していない。
- ・標高差があれば収穫時期も異なるので、集積しないことで作業時期がずれ、労働競合が起こらない形で経営を組み立てている。
- ・開発途上国に日本の農業を広めたいとの思いから、インドネシアで現地生産を開始。

〈視察場所〉

①ライスセンター・保冷库

- ・収穫した米の乾燥の様子及び保冷库での保管の様子を視察

②ほ場

- ・中山間地の水田の状況及び手作業で行っているほ場の様子を視察。

※他県の販売現場を見るため、道の駅2カ所も視察。

（雷電くるみの里、うえだ食彩館ゆとりの里）



（荻原農場長のライスセンターでの説明）



（ほ場の視察・質疑応答の様子）

## ②6次産業化コース

■日時：平成27年10月7日（水）10：00～17：00

### ■内容

#### ◆先進事例調査

視察先：農事組合法人 国府野菜本舗（高崎市）

講 師：農事組合法人国府野菜本舗 代表理事 真塩 光枝 氏

T A：（一社）アグリフューチャージャパン 主任 岡部 由美子 氏

#### 【概要】

○加工所・店舗を視察。その後、会議室にて、同法人の立ち上げの経緯や法人運営で苦労した点などを女性農業者視点で講義を受けた。

○講義後は、同法人が運営する農家レストランを視察し、昼食をいただいた。

#### ◆講義・演習

#### ◆場所：県庁舎291会議室

テーマ：「ファーマーズ&キッズフェスタ出展に向けて」

講 師：株式会社 kenma 代表取締役 今井 裕平 氏

株式会社 kenma 林 雄三 氏

（一社）アグリフューチャージャパン 主任 岡部 由美子 氏

#### 【概要】

○各塾生が、ファーマーズ&キッズフェスタに出品予定の商材について、商品シートを基に説明し、各講師からアドバイスを受けた。

その後、林氏からデザイン案の提示、説明を受けた。



（店舗内視察の様子）



（演習の様子）

## 第5回講座

### ①担い手育成コース

■日時：平成27年11月4日（水）10：00～16：30

■場所：ぐんま男女共同参画センター 大研修室

■内容

◆講義

演題：「まつのにおける流通戦略の歩み～今後の流通について考える～」

講師：（株）まつの 代表取締役 松野 貞文 氏

#### 【概要】

- （株）まつのが行ってきた流通戦略や、現在の流通現場及び今後の流通の流れについて講義を受け、塾生が売り方について考えるきっかけとなった。
- ・青果市場等は休日も多くあるが、飲食店は365日24時間営業のお店も多い。（株）まつのは顧客のために365日24時間体制で対応している。
  - ・毎年、簡単な言葉で誰でも分かるその年のスローガンを作成し、社員に徹底している。「すぐやる、必ずやる、できるまでやる」、「小さなことほど丁寧に、当たり前のことほど真剣に」、「真心込めて届けます」等々。
  - ・お客様の目となり（プロの目利き）、手となり（手をかける）、足となる（確実に届ける）。目配り、気配り、心配りを大事にしている。
  - ・（株）まつの成長の3要因  
①時間との闘い      ②青果業界の常識を疑ってかかる      ③全面可視化の取組

◆講義・演習・グループワーク

テーマ：「顧客・市場分析演習」

講師：（一社）アグリフューチャージャパン 竹村 淳 氏  
（公財）流通経済研究所 研究員 石橋 敬介 氏

#### 【概要】

- 「顧客市場分析」の講義（STPの簡単な説明）を受けた後、ペルソナ分析（自社商品の代表的な消費者像）について講義を受け、各班ごとにテーマ素材を割り当て、ターゲット消費者を検討し、資料の作成・発表を行った。
- 次に、各班で設定した消費者に対して、どの様な製品（売る量や包装）をいくらで売り、流通経路や販売促進をどうするかを検討し、発表を行った。



（松野社長の講義）



（演習・グループワークの様子）



## ②6次産業化コース

■日時：平成27年11月14日（土）・15日（日）

■内容

### ◆販売演習

第6回「ファーマーズ&キッズフェスタ」への出展

会 場 東京都・日比谷公園

講 師 一般社団法人アグリフューチャー・ジャパン 主任 岡部 由美子 氏

### 【概要】

【演習共通テーマ 「群馬を伝える」】

- 参加目的：「消費者に伝える」ことを学ぶとともに、会場を視察して他の販売者の良い点を見習えるよう情報収集し、今後の商品企画・販売に活かしていく。
- 11月14日（土）第1日目
  - ・雨の影響で客足は鈍く、昨年ほどの賑わいは無かったが、寒さのためか、本県の郷土料理「つみっこ汁」（すいとん）の売上げは順調。
- 11月15日（日）第2日目
  - ・1日目の反省を踏まえ、塾生から、周囲の出展者にも挨拶回りをして、「群馬を伝えたらどうか？」との提案があり、実行に移す。
- 塾生の感想
  - ・群馬の統一コンセプトを考え、みんなの思いが詰まったデザイン性の高い紙袋でお客様に商品を渡して喜んでもらうことで、「ぐんま」を伝えることができた。相手の事や伝えたい事を事前に十分に検討する大切さや、売り方を学ぶ事ができた。
  - ・東京の消費者と直接話をして売る事で、どの様な商品が喜ばれるか等を知る事ができ、今後の商品企画や販売に活かす事ができた。



（オープニング前の全体写真）



（ちびっ子・女性に大好評のぐんまちゃん）



（「ぐんま」を伝える塾生）

## 第6回講座

### ①担い手育成コース

■日時：平成27年12月1日（火）10：00～16：30

■場所：群馬男女共同参画センター 大研修室

■内容

◆講義

演題：「農業経営者の役割について考える」

講師：(株)野菜くらぶ、グリーンリーフ(株) 代表取締役 澤浦 彰治 氏

#### 【概要】

- 「経営理念（感動農業、人づくり、土づくり）」、「これまでの沿革」、「人材」を中心に、経営者の役割について講義を受けた。
- ・経営者は何でもやらなければならない。会社の方向を示す事が大事。
- ・ストーリー性が求められるようになってきたが、行き着く先はやっぱり良い物。ストーリーが良くても、物が悪ければ次はない。
- ・理念はもちろん大事だが、きちんとした数字や裏付けが重要。
- ・お客様がいて農業が成り立つ。お客様との出会いを大切に。
- ・欠点の中に将来の成長点があった。「ここだけ、これだけ、あなただけ」とターゲットを絞る。お客様の不満こそビジネスチャンス。
- ・経営者として大事なことは、誠実であること、素直であること、使命感を持つこと、真実を観る目を持つこと、正しいと思ったら諦めないこと、常に変化をしていく勇氣をもつこと。
- ・経営資源は人・もの・金・情報というが、究極・唯一の経営資源は人である。

◆講義・演習

テーマ：「目標の設定と経営計画発表に向けた準備」、「実行計画・収支計画の立て方」

講師：(一社)アグリフューチャージャパン 竹村 淳 氏

(公財)流通経済研究所 研究員 石橋 敬介 氏

#### 【概要】

- 経営計画の素案のブラッシュアップを行うため、簡単な説明を行い、次の事項について、自社に当てはめてシートを作成した。
- ①自社の経営戦略の策定（経営ビジョン、内部環境・外部環境の分析、戦略）
- ②自社の経営戦略を具体的に実行計画に落とし込む
- ③行動計画をもとに収支計画を策定



(澤浦社長の講義)



(竹村講師の講義)

## ②6次産業化コース

■日時：平成27年12月4日（金）10：00～16：30

■場所：群馬県庁 291会議室

■内容

### ◆講義

演題：「6次産業化による地域の活性化～おおむら夢ふぁーむシュシュの取組～」

講師：（有）おおむら夢ファームシュシュ 代表取締役 山口 成美 氏

### 【概要】

○おおむら夢ふぁーむシュシュで取り組んでいる6次産業化による地域の活性化手法について講義を受けた。

- ・農協マンを脱サラして農家になり、直売所運営に係わるようになった。農協や役場の出資で立ち上がった直売所では無く、8人の農家が出資して立ち上がった施設。平成8年にビニールハウスを改造しての出発であるが、現在では年間49万人の来場者を数え、従業員数約80名の施設に成長。
- ・「うちの地域には何も無い」と嘆く直売所の関係者がいるが、種をまかなければ何も始まらない。おおむら夢ファームも、様々な果樹を植え付けて一年を通してお客様に喜んでもらえるように施設を整備してきた。「年中夢求」の精神で頑張っている。
- ・若い農業者のみなさんも頑張りたいとエール。

### ◆講義・演習

演題：「商品企画書作成について」

講師：一般社団法人アグリフューチャージャパン 主任 岡部 由美子 氏

### 【概要】

○岡部講師による商品企画シートの記入方法の解説の後、各自で作成演習を実施。



（山口社長の講義）



（岡部講師による演習）

## 第7回講座

### ①担い手育成コース

■日時：平成28年2月2日（水）10：00～16：30

■場所：ぐんま男女共同参画センター 大研修室

#### ■内容

##### ◆経営計画発表会

講評：NHK解説主幹（ぐんま農業フロントランナー養成塾塾長）  
（一社）アグリフューチャー・ジャパン 常務理事兼事務局長  
（一社）アグリフューチャー・ジャパン  
（有）ヤバタファーム 代表取締役  
日本政策金融公庫前橋支店 支店長  
農林中央金庫前橋支店 次長  
（公財）流通経済研究所

合瀬 宏毅 氏  
戸山 章弘 氏  
竹村 淳 氏  
矢端 幹男 氏  
武者 雄二 氏  
笠原 康弘 氏  
石橋 敬介 氏

#### 【概要】

○塾生が経営計画を発表。

〈発表〉 → 〈質疑応答〉 → 〈講評〉という流れで実施。

- ・塾生は、今後、どのように農業経営に取り組んでいくかを経営計画に記載し、新たなスタートを宣言した。
- ・塾生相互で質疑応答を行い、一年間ともに学んだ仲間として、質問や助言、激励が送られた。
- ・講師からは、今後の農業経営に関するアドバイスや期待すること、気を付けるべきこと等について、講評いただいた。



（発表の様子）



（講評及び会場の様子）



（合瀬塾長の講評）



（発表後の全体写真）

## ②6次産業化コース

■日時：平成28年2月17日（火）9：00～16：00

■場所：群馬県庁 昭和庁舎 35会議室

■内容（発表 11:00～15:30）

### ◆商品企画発表会

講師（助言者）

講評：NHK解説主幹（ぐんま農業フロントランナー養成塾塾長）

（一社）アグリフューチャージャパン常務理事兼事務局長

（一社）アグリフューチャージャパン 主任

ショッピングアドバイザー：活動名：今野保

群馬県商工会連合会 経営支援課長 橋本勉 氏・嘱託専門指導員 菅田洋之 氏

日本政策金融公庫前橋支店 上席課長代理

農林中央金庫前橋支店 次長 笠原 康弘 氏 ・ 梅山 一郎 氏

合瀬 宏毅 氏

戸山 章弘 氏

岡部 由美子 氏

服部 保博 氏

山口 敦 氏

### 【概要】

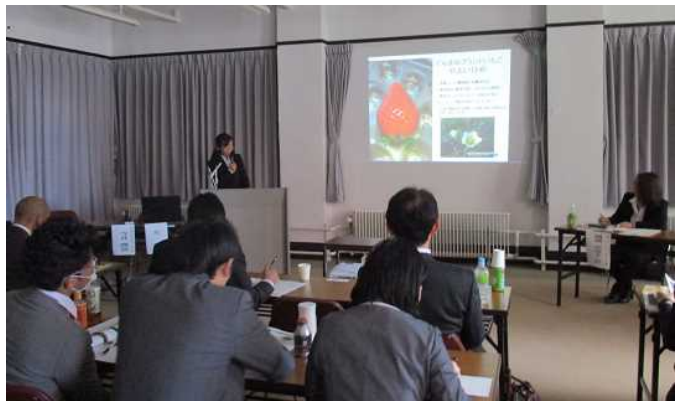
○塾生が商品企画を発表。

〈発表〉 → 〈質疑応答〉 → 〈講評〉という流れで実施。

- ・パワーポイントによるプレゼンテーションの他に、会場に企画商品の展示を行った。
- ・塾生は、バイヤーに対して商品企画の売り込みのプレゼンを行うという前提条件のもとで、商品に込めた熱い思いなどを伝えた。
- ・講師からは、商品性について評価いただくとともに、戦うべきマーケットや販売のターゲットを明確にすること、付き合うべきバイヤーの条件など、個別具体的なアドバイスを受けた。



（発表前の全体写真）



（発表の様子）



（商品展示の様子）



（合瀬塾長の講評）